

令和4年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立図書館 (千代田図書館、日比谷図書文化館、四番町図書館、昌平まちかど図書館、神田まちかど図書館)	所在地	【千代田】千代田区九段南1-2-1 【日比谷】千代田区日比谷公園1-4 【四番町】千代田区三番町14-7 【昌平まちかど】千代田区外神田3-4-7 【神田まちかど】千代田区神田司町2-16
-----	--	-----	--

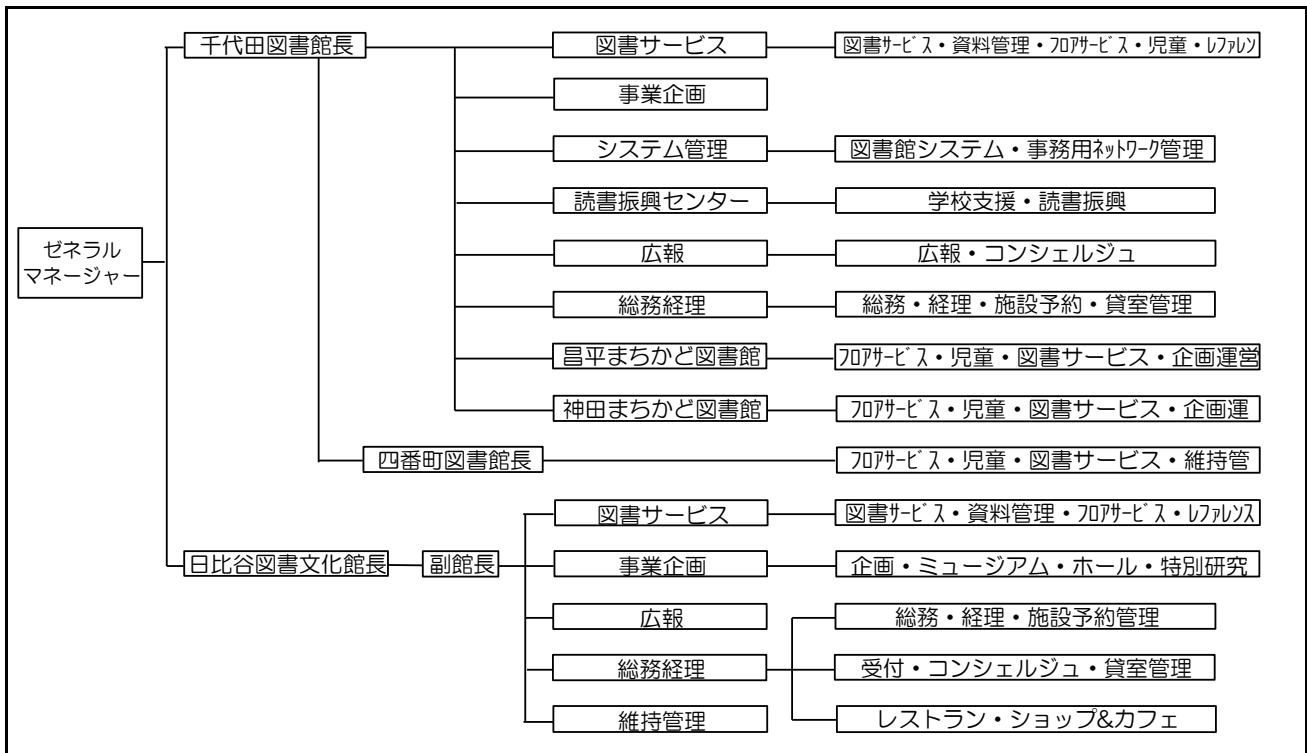
1 指定管理者の概要

名称	千代田ルネッサンスグループ	代表者	(株)小学館集英社プロダクション 代表取締役 都築 伸一郎 [構成企業] (株)ヴィアックス 代表取締役 西門 直 (株)図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子 カトリック・パブリシティ(株) 代表取締役 千大輔 (株)シェアード・ビジョン 代表取締役 菅谷 彰 大星ビル管理(株) 代表取締役 寺島 剛紀
所在地	千代田区神田神保町2-30		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区立図書館の伝統と新しい行政に取り組む千代田区の特徴を生かし、文化情報資源の総合センターとしての役割を担い、基本的な図書館サービスの拡充や区民の生涯学習に資する。
管理業務の内容	(1) 図書館の利用に関する業務 (2) 図書館の事業の実施に関する業務 (3) その他、館の運営に関し必要と認める業務

3 管理体制の状況



4 事業実績等

(1) 来館者数

	千代田図書館	日比谷図書館文化館	四番町図書館	昌平まちかど図書館	神田まちかど図書館
令和4年度	302,006人	450,469人	120,542人	59,832人	89,506人
令和3年度	212,741人	286,050人	116,174人	46,535人	69,058人
令和2年度	204,121人	249,202人	115,533人	45,095人	65,307人

(2) 図書館業務（令和4年度）

施設名	登録者数	蔵書数	貸出数（団体貸出を含む）	レファレンス受付件数	データベース利用件数
千代田図書館	18,115人	216,958点	232,162点	4,712件	3,381件
日比谷図書館文化館	18,277人	230,159点	135,776点	2,073件	1,706件
四番町図書館	5,484人	93,368点	214,781点	200件	0件
昌平まちかど図書館	2,053人	30,012点	59,988点		
神田まちかど図書館	3,441人	28,798点	125,712点	-	-

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料（図書館事業運営）	818,966,422円	人件費	536,634,102円
指定管理料（学校図書館等司書派遣）	61,353,000円	資料費	83,513,828円
研修室、会議室、ホール使用料	25,153,796円	システム運営費	2,632,874円
レストラン・ショップ&カフェ販売料等	54,620,485円	広報費	11,933,681円
日比谷カレッジ受講料	3,490,180円	一般運営費	37,164,794円
特別研究席利用料・日比谷ラボラトリー売上	1,407,900円	維持管理費	177,340,264円
特別展示室入場料	1,771,800円	一般管理費	20,370,370円
コピーサービス利用料等	2,380,330円	事業費	150,336,489円
損失費用補填額	37,103,724円	合計（②）	1,019,926,402円
合計（①）	1,006,247,637円		
収支差額（①－②）	-13,678,765円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和4年度は、千代田区内在住者の予約冊数の上限を5冊から10冊に拡大し、貸出冊数の増加につなげました。また、電源付閲覧席を計7席増設、データベース席の利用時間を1日1回30分（延長1回可）から1日2回各1時間まで拡大、キャッシュレス決済を開始して付帯施設利用料などの支払いを現金以外で決済可能にするなど、利用者サービスの向上に努めました。</p> <p>日比谷図書館文化館の障害者用駐車場には、滑り止め加工を施した段差解消用プレートを設置して、安全性を向上しました。</p> <p>企画では、神保町地域の名所「岩波ホール」の閉館に合わせて歴史を振り返る展示が、テレビや新聞などメディアの注目を集め、新規来館者獲得の一翼を担いました。</p> <p>こうした施策が功を奏し、来館者数は、5館全館が前年度を上回り、5館合計で100万人を超えました。しかし、令和元年度の実績比で6割程度のため、各館とも来館者数増加を目指した機能整備や企画、イベント等のさらなる強化が必要です。</p> <p>新規登録者数も令和元年度比7割を超えた実績で、回復傾向にあるなど、事業実績は全般的には順調な推移を見せています。</p>	<p>収入が減少する一方で、支出（主に事業費）の削減が難しく、収支差額はマイナスとなりました。</p> <p>【収入】 新型コロナウイルス感染症の影響により、予算に対する売上が、貸室約7割強、レストラン6割、日比谷カレッジ等の講座6割弱、特別研究席4割、特別展示5割弱、コピーサービス7割強にとどまりました。また、新型コロナに係る区からの損失費用補填と、光熱費高騰の影響による指定管理料の増額変更がありました。</p> <p>【支出】 人件費、資料費、運営費（システム運営費、広報費、一般運営費、維持管理費、一般管理費）の予算に対する実績は、1%未満の増加に抑えられました。</p> <p>資料費では、四番町図書館と両まちかど図書館の新規図書購入や汚破損等による図書の買換えを優先しました。また、コロナ禍でWeb図書館の利用件数が増えたため、千代田図書館の資料費の一部をデジタルコンテンツの充実に振り向け、利用者サービスの向上に努めました。</p>

7 区による評価・業務改善要求

令和4年度は、令和5年3月に実施した図書館システムリプレイスによる休館期間を挟みながらも、来館者数・貸出数ともに前年度を上回る実績であったことは、指定管理者による安定的な運営の賜物と評価できる。しかしながら、来館者数は令和元年度実績比では6割程度にとどまっており、収入予算に対する売上の減にもつながっている。来館者を取り戻すためにも、さらなる訴求力のある企画やイベントをお願いしたい。

また、区民の予約冊数上限の拡大や電源付き閲覧席の増設など、利用環境を向上させたことは評価できる。利用者からの要望にすべて応えることは難しいが、今後もその時々ニーズに合わせて、サービスの見直しを続けていってほしい。

8 今後の指定管理に区が期待すること

令和6年度には「子ども読書活動推進計画」の改定を予定しているため、指定管理者からも発展的な意見が出ることを期待している。

また、施設面では、令和8年度に四番町図書館が仮施設から本施設に移転予定である。老朽化した日比谷図書文化館についても、大規模改修を視野に入れた検討を始める時期に来ており、それぞれの円滑な準備のためにも、今後も区との緊密な連携をお願いしたい。